

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年1月4日～1月6日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連パラメータ
1月4日	12月5日に発生した3号機原子炉注水停止事象について、同日、福島県が再発防止対策の徹底を申し入れていることから、対応状況を確認した。	4号機タービン建屋2階	<p>○4号機タービン建屋2階にある3号機原子炉注水設備電気品室において、標記事象への再発防止対策として、以下が実施されていることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操作盤近辺への立入禁止措置 ・重要設備につき接触注意の表示 ・操作盤からのCS(コントロールスイッチ)レバーの取り外し ・事象発生時の通報連絡経路の表示 	11時35分現在
1月5日	1号機原子炉注水量低減操作の確認	免震重要棟集中監視室	○1号機原子炉注水量低減操作の状況を確認した。給水系の流量が約2.5m ³ /hから約2.0m ³ /hに変更された。変更前後で原子炉内の温度に大きな変化は見られなかった。	13時32分現在
	H8タンクエリアRO濃縮水移送ポンプ配管からの漏えい事象確認	H8タンクエリア	○平成28年12月28日発見された、H8エリアにおける移送ポンプ出口配管ドレン弁下部の滴下跡と、移送ポンプ室内の水たまりについて、現場確認を行った。滴下跡は汚染拡大防止のため、樹脂でコーティングされていた。また、滴下跡の上部にあるドレン弁を増し締めしたが滴下が継続したため、ドレン弁に水が入らないよう周辺の弁が閉められていた。ポンプ室内の水たまりについては調査中との説明を受けた。	
	フランジ型タンクの予防保全工事の状況確認	Eタンクエリア	○フランジ型タンクからの漏えいを未然に防止するため、最下部(1段目)のフランジに止水材を塗布する作業が行われていることから、現場を確認した。パテでフランジの凹凸をなくす作業が行われていた。止水材の塗布作業は今後実施していくとの説明を受けた。	
1月6日	G3タンクエリアの状況確認	G3タンクエリア	○G3北及びG3西タンクエリアで側面まで覆う堰カバーが設置されていた。G3東タンクエリアには側面を覆うカバーはなかった。	13時36分現在
	H5タンクエリア西側RO濃縮水移送配管からの漏えい事象確認	H5タンクエリア西側	○当日発生したH5タンクエリア西側RO濃縮水移送配管からの漏えいについて、現場確認した。移送ポンプ出口配管の弁から滴下が生じたとの説明を受けたが、現場では滴下は確認できなかった。弁下部には水を受けるためのビニール袋が設置されていた。東京電力社員が配管の保温材を外して弁に付着していた水の線量率を測定したところ、周辺の線量率と同程度のため、弁から汚染水が漏えいしたのではなく、保温材にしみこんだ雨水が滴下したと判断された。	

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。